

地域密着型金融推進計画の進捗状況

— 平成23年4月～26年3月 —

(平成26年3月現在)

平成26年6月2日

 瀬戸信用金庫

I. 当金庫の地域密着型金融推進計画(平成23年度～25年度)

1. 基本方針

顧客企業・地域とのリレーションの強化およびコンサルティング機能の発揮により、地域密着型金融の更なる深化を図ります。また、事業活動を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。

2. 具体的な取組項目

① 金融円滑化管理の適切な実施とライフサイクルに応じた取引先企業に対するコンサルティング機能の一層の強化

- ✓ 金融円滑化の実施
- ✓ 創業・新事業支援等
- ✓ 日常的な関係強化と経営課題の把握
- ✓ 事業承継支援
- ✓ 事業再生・経営改善支援
- ✓ お客様の海外展開支援

② 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ✓ 定性情報を含めた地域での情報の活用
- ✓ 多様な手法による資金供給の実施
- ✓ 目利き力の向上

③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ✓ 協同組織金融機関としての地域への貢献
- ✓ 金融サービスの提供
- ✓ 地域活性化への積極的な参画等

Ⅱ. 地域密着型金融推進計画の取組状況(要約) (平成23年度～25年度)

1. 取組状況

金融円滑化管理の適切な実施とライフサイクルに応じた取引先企業に対するコンサルティング機能の一層の強化については、25年3月末でもって中小企業金融円滑化法が期限到来いたしました。法終了後もコンサルティング機能を十分に発揮するなどして、中小企業金融円滑化の適切な対応に努めました。また、更なるコンサルティング機能を発揮するために、当金庫が代表機関となって中小企業庁が実施する「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」における地域の中小企業支援機関の連携体として、「しんきん愛知プラットフォーム」を組成するとともに、昨年8月には、海外駐在員事務所をタイ・バンコクに開設いたしました。

事業再生・経営改善支援としては、中小企業診断士等による総合診断、外部機関と連携した改善支援の強化などを図った結果、経営支援対象先のランクアップ数は年間目標10先に対し、23年度実績は16先、24年度実績は9先、25年度は7先となりました。

事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底としては、地域の活性化を促す観点から、成長分野を担う中小零細企業等に対する自主的な取組みの「地域活性化応援ファンド」を推進いたしました。また、太陽光発電事業を計画している事業者に対して「太陽光発電事業資金」の取扱いを開始したほか、ABL(動産担保融資)を実行するなどして多様な手法による資金供給に努めました。

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献としては、地域の小・中学生を対象に健全な金銭感覚を身につけていただくことを目的とした金融経済教育を実施するとともに、瀬戸市主催による地域ビジネスの創業をサポートする「せと・しごと塾」や瀬戸商工会議所主催「経営革新塾」に講師等として参画しました。また、地域の課題を解決するためのコミュニティビジネス支援として「せとしんプロボノプロジェクト」を実施いたしました。この間、外国人留学生等のインターンシップも積極的に受け入れました。

※プロボノとは…仕事で培ったスキルや経験を活かしたボランティア活動

2. 計画の達成状況に対する分析・評価及び今後の課題

計画は、ほぼスケジュール通りに進捗したと認識しております。

平成26年度から新たな3か年計画(第9次中期経営計画)『「せとしん新成長戦略Ⅱ」～あなたの街の頼れる信用金庫～』をスタートさせ、地域活性化への取組みなどを重要施策として掲げ、地域密着型金融の更なる深化を図るとともに、成長分野の育成などに積極的に取組むなどして事業活動を通じた地域社会の発展に貢献してまいります。

Ⅲ. 平成25年度の主な取組実績

1. 金融円滑化管理の適切な実施とライフサイクルに応じた取引先企業に対するコンサルティング機能の一層の強化

創業・新事業支援

- ▶ 創業者経営相談や創業支援融資に加え、中小企業施策であるものづくり補助金や創業補助金の申請を支援し、新規事業の立ち上げを多面的にサポートするなどしました。

事業再生・経営改善支援

- ▶ 当金庫が代表機関となって「[しんきん愛知プラットフォーム](#)」を組成し、専門家派遣制度の活用によりお客様のニーズに応じた中小企業支援を実施しました。

せとしん青年経営者会

- ▶ [せとしん青年経営者会](#)の合同例会や各支店での勉強会等の開催により、中小企業の後継者世代の交流と経営資質の向上を図りました。

お客様の海外展開支援



- ▶ 海外事業支援を強化するため、信用金庫では初となる[海外駐在員事務所](#)をタイ・バンコクに開設いたしました。

Ⅲ. 平成25年度の主な取組実績

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

多様な手法による資金供給の実施・定性情報を含めた地域での情報の活用

「あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド」活用セミナー

【あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド 出資企業】

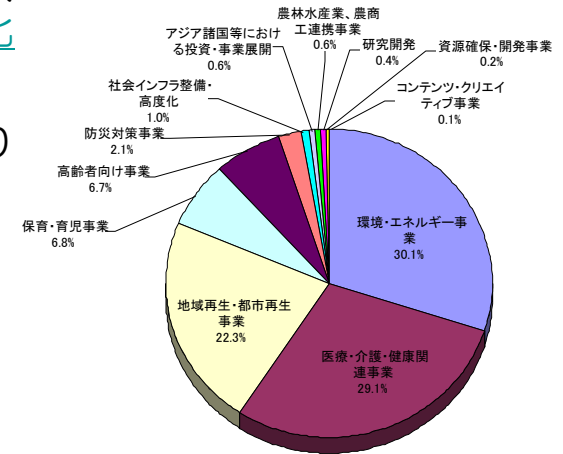
農林漁業成長分野の活性化を促進し、地域活性化を推進する。本ファンドの出資先は、農林漁業成長分野の活性化を促進し、地域活性化を推進する。本ファンドの出資先は、農林漁業成長分野の活性化を促進し、地域活性化を推進する。

登録番号	名称	業種	所在地
001	愛知県農業総合センター	農林業	愛知県豊田市中区
002	愛知県農業総合センター	農林業	愛知県豊田市中区
003	愛知県農業総合センター	農林業	愛知県豊田市中区

- 農林漁業の6次産業化を支援する「あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド」に50百万円出資しました。（平成26年3月）
- 6次産業化に取り組む農林漁業者への新たな支援方法として、本ファンドを通じて出資・経営支援を行っております。

- 支店長・次長が中心となって各取引先の成長分野への資金需要を把握し、地域活性化応援ファンドの推進を図りました。
- 平成25年度の実績は27件30億円となりました。

- 事業用太陽光発電設備（メガソーラー）設置ニーズに対応する新たな資金供給の手法として、「動産（太陽光発電設備）担保融資」の取扱を開始しました。
- 平成25年度の動産担保融資（ABL）の取組実績は3先5.7億円となりました。



「地域活性化応援ファンド」の成長分野別内訳
（平成26年3月末現在、実行金額ベース）

Ⅲ. 平成25年度の主な取組実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化への積極的な参画等

『せとしんプロボノプロジェクト』の実施

- NPOバンク（コミュニティ・ユース・バンクmomo）と連携し、『せとしんプロボノプロジェクト』を実施しました。本プロジェクトでは当金庫職員27名が業務後の時間を利用し、ソーシャルビジネス事業者と共に地域課題解決に向けた取り組みを行いました。
- 平成26年2月には、半年間にわたる活動の成果を発表する機会として外部有識者等を交えたフォーラムを開催し、100名以上の方が来場されました。
※プロボノとは…社会人が仕事で培ったスキルや経験を活かしたボランティア活動
※ソーシャルビジネスとは…地域社会の様々な課題をビジネスの手法で解決する取組み



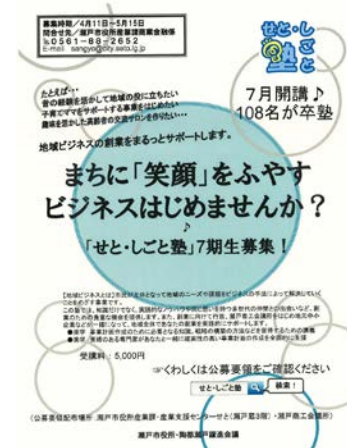
金融経済教育の実施



- 地域の小・中学生を対象に、お金の役割や使い方を正しく理解していただき、健全な金銭感覚を身につけていただくことを目的に「金融経済教育の出前授業」を平成20年度より実施しております。

『せと・しごと塾(6期生)』の取組み

- 『せと・しごと塾』とは、地域の課題をビジネスの手法で解決する「地域ビジネス」の創業を目指す方を支援する、瀬戸市主催の事業です。瀬戸市、商工会議所等と当金庫の連携により、創業を目指す方々へ、必要となる知識の修得や交流の機会を提供しており、平成25年度で第6期を迎えました。



IV. 平成25年度の主な計数実績

経営改善支援活動の取組状況

期初債務者数		(A) 3,442先
経営改善支援取組先数 及び取組率	目標	100先以上
	実績	(α) 129先
		(α/A) 3.7%
再生計画策定先数及び策定率	目標	90.0%以上
	実績	(σ) 129先
		(σ/α) 100.0%
ランクアップ先数 及びランクアップ率	目標	10先以上
	実績	(β) 7先
		(β/α) 5.4%

※ 止常先は除きます。

※ 詳細につきましては、別途掲載の「経営改善支援活動の取組状況」をご覧ください。

個人保証・不動産担保に過度に 依存しない融資の取組み

動産担保融資（ABL）	3先
	570百万円

事業再生・経営改善支援実績

経営支援グループと資産・経営相談グループが連携して経営改善支援を行った先	3先
マーケティングを含む総合診断を実施し、経営改善提言を行った先	3先
しんきん愛知プラットフォームの専門家派遣制度を活用し支援を行った先	11先

創業・新事業支援融資実績

創業者経営相談	36件	
創業支援融資	29件	
	137百万円	
補助金申請支援 （採択数実績）	ものづくり補助金	21件
	創業補助金	28件
	小規模事業者活性化補助金	11件
新事業支援融資	43件	
	3,110百万円	